

第 16 回 番組審議会議事録

開催日時：2026 年 7 月 30 日（木）11:00～12:00

開催場所：Web 会議システム

出席者：

委員

菅谷 実様、岩浪 剛太様、高芝 利仁様、野村 宗芳様、木下 のぞみ様、田中 絵麻様
木田 真由美様、堀 真由美様

当社側

代表取締役石原 収
放送編成本部編成部長 斉藤 成洋
経営企画本部 堀 憲輔

オブザーバー

株式会社 QVC ジャパン Content & Sales Strategy
Schedule Senior Manager 井貝 明子
株式会社 QVC ジャパン Advertising Compliance
Manager 寺尾 勝
株式会社 QVC ジャパン Advertising Compliance
Manager 中井 早苗
株式会社 QVC ジャパン Commerce Programming
Supervisor 稲子谷 秀昭
株式会社 QVC ジャパン Commerce Programming
Program Planner 坂下 展子
株式会社 QVC ジャパン Merchandising
EL/HG Senior Buyer 小林 亮太
株式会社 QVC ジャパン Merchandise
Product Planner 村端 知佐子

本審議会においては、下記番組を審議対象とし、委員より意見がなされた。

(審議対象番組)

- ・窓ガラスに貼るだけ簡単 窓用遮熱遮光メッシュシート

2026年6月29日(日) 0:00 放送

(Today's Special Value)

(番組審議委員意見)

- ・猛暑対策や節電対策として時宜に合った商品であり、季節ニーズに合致した魅力的な商品であるとの評価があった。
- ・温度比較実験や実演を通じて、商品の遮熱効果や使用イメージが分かりやすく伝えられていた。一方で、ペアガラスへの使用可否や使用条件についての説明が十分ではなく、購入判断に必要な情報として、より明確な案内が求められた。
- ・価格説明において誤った価格表現があり、正確な情報提供と迅速な訂正対応の重要性が指摘された。
- ・「騙されたと思って貼ってみてください」といった表現については、視聴者によっては不適切と受け取られる可能性があり、信頼性の観点から慎重な表現が望ましいとの意見があった。
- ・紫外線遮蔽率や遮熱効果に関する説明については、科学的根拠や表現の正確性をより高める必要があるとの指摘があった。
- ・モニター出演者によるコメントは分かりやすい一方で、やや演出的な印象を与える場面もあり、実際の利用者による自然な感想の方が共感や信頼につながるのではないかと意見があった。
- ・製造メーカーや商品の開発経緯について、より積極的に紹介することで安心感や商品理解の向上につながるとの提案があった。
- ・商品の耐用年数や再利用方法、保管方法など、長期使用に関する情報についても具体的な説明が望まれるとの意見があった。
- ・「日本製」という訴求については、それ自体だけでなく品質管理や製造工程など、安心につながる根拠と合わせて説明することが重要との指摘があった。
- ・番組内におけるプロショッパーの役割や立場について、視聴者が理解しやすい説明や位置付けの明確化を求める意見があった。

(当社側の説明・回答 要旨)

- ・ペアガラスに関する説明不足や価格訂正時の対応、出演者による表現の適切性、科学的説明の正確性については改善課題として認識しており、今後の番組制作に反映していく。
- ・モニターコメントについては、より自然な体験談や実使用に基づく感想が伝わる演出方法を検討していく。
- ・本商品は日本メーカーによる国内製造商品であり、顧客の声を反映しながら改良を重ねてきた経緯がある。今後は商品開発背景や改善プロセスも積極的に紹介していく。
「日本製」の訴求については、製造工程や品質管理体制など具体的な根拠とともに説明し、商品の価値や安心感をより分かりやすく伝えていく。
- ・プロショッパーについては、商品の専門的な説明や実演を担う役割を有しているが、商品特性によってはメーカー担当者による説明が適切な場合もあり、今後も出演者選定や役割説明の改善を図っていく。

以上

